

機械器具 12 理学診療用器具
一般医療機器 弾性ストッキング 31724000
メディ弾性ストッキング



【警告】

1. 適用対象

- 1) 深部静脈血栓症の患者であり、本品を装着すると肺血栓塞栓症を起こすおそれのある患者。
- 2) 動脈血行障害、うっ血性心不全及び四肢に炎症性疾患・化膿性疾患・急性創傷のある患者。
[圧迫により症状を悪化させるおそれがあるため。]
- 3) 装着部に神経障害がある患者。
[血行障害等を起こしても認識できない可能性があるため。]
- 4) 糖尿病患者。
[無症状の神経障害や血行障害を併発している可能性があり、痛み等の異常を認識できないおそれがあるため。]
- 5) 繊維に対して、過敏症の患者。
[接触性皮膚炎を起こす可能性があるため。]

2. 使用方法

医師が必要と認める場合を除き就寝時は着用しないこと。
[臥位になることで静脈還流等に変化が起り、患者によっては必要以上の圧迫圧がかかるおそれがあるため。]

【禁忌・禁止】

1. 重度の血行障害、うっ血性心不全及び有痛性青股腫の患者。
[圧迫により症状を悪化させるおそれがあるため。]
2. 感染性静脈炎の患者。
[菌血症や敗血症を発生、増悪させるおそれがあるため。]
3. 装着部位に極度の変形を有する患者。
[適切な圧迫力が得られないため。]

【形状・構造及び原理等】

*本品は、原材料の配合比による以下のブランド名がある。

(1)	メディエレガンス	下肢用
(2)	メディプラス	
(3)	メディフォルテ	
(4)	メディコンフォート	
(5)	メディアクティブ	
(6)	メディモンディ	
(7)	デュオメディ	
(8)	デュオメディ スムース	
(9)	メディ550	上肢用、下肢用
(10)	メディセンスー	下肢用
(11)	メディユージー	
(12)	メディハーモニー	上肢用
(13)	メディエスプリ	

1. 形状

1) 上肢用

スリーブ、ミトン付スリーブ、ミトン、グローブ、ショルダー付スリーブ、ショルダーキャップ・ベルト付スリーブ、ショルダーキャップ・ベルト付ミトン付スリーブ、指用スリーブ、ボディスリーブ

2) 下肢用

ハイソックス、ストッキング（ショート、ロング）、パンティストッキング、マタニティパンティストッキング、片脚ストッキング（右用、左用）、メンズレオタード、片脚パンティストッキング（右用、左用）、アンクルサポーター、レッグサポーター

2. サイズ

1) 上肢用

3S、SS、S、M、L、LL、3L、4L、5L

患者の体型に合わせたオーダーメイドが有る。

2) 下肢用

3S、SS、S、M、L、LL、3L、4L、5L

患者の体型に合わせたオーダーメイドが有る。

3. 原理

四肢（指先から付け根まで）の全部若しくは一部を覆い、装着部に編み上げた糸の弾力により同心性の圧迫力を加えるとともに、四肢の末梢部から中枢に向かって圧迫力が漸減する。

*4. 圧迫圧

18～46 mmHg (2.4～6.1kPa)

49 mmHg (6.5kPa) 以上

【使用目的又は効果】

本品は、四肢の静脈血、リンパ液のうっ滞を軽減・予防、静脈還流の促進、血流・血行の促進、むくみ及び浮腫の軽減目的に使用される医療用の弾性ストッキング及び弾性スリーブである。末梢から中枢に向かい漸減的に圧迫を加える機能を有する。

【使用方法等】

装着部の周径にあったサイズを使用すること。

【上肢用】

1. スリーブの上部をあらかじめ手首の部分まで裏返し、スリーブの先端から上肢に向けて着用する。ミトン付の場合は指先から着用し、その後上肢に向けて着用する。
2. 全体にたるみがないことを確認すること。
3. ショルダーキャップ・ベルト付の場合は、ショルダーキャップを肩にかけ、ベルトを固定する。

【下肢用】

1. ストッキングの上部をあらかじめ足首の部分まで裏返し、踵の向きに注意し、つま先から踵まで履く。
2. 踵の部分の正しく合わせ、甲の部分にたるみがないようにする。
3. ストッキングの上部を持ち、ストッキングの形状に応じて、ふくらはぎ、膝、腿までゆっくり引き上げる。

【使用上の注意】

1. 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）
 - 1) 術後等患者の意識レベルが低い場合及び患者との意思疎通が困難な場合には患者の状態をよく観察して使用すること。
 - 2) ギプス、外傷等による長時間の四肢可動不能状態の患者は、潜在的に深部静脈血栓症を発症している可能性があるため注意して使用すること。
 - 3) 本品の使用により、疼痛、しびれ、皮膚や爪の変色、皮膚温の低下、かゆみ、発疹、かぶれ等の異常及びその他装着前に感じなかった不快感、違和感が生じた場合は、直ちに使用を中止すること。
[動脈および静脈の血行障害又は神経障害等を発症するおそれがあるため。]
2. 重要な基本的注意
 - 1) 正しい圧迫圧を得るため、装着部位の規定箇所を必ず計測し、正しいサイズの本品を選択すること。またサイズ適応外の場合には使用しないこと。
 - 2) 本品を折り返して使用しないこと。
[血行障害や神経障害を引き起こすおそれがあります。]
 - 3) 圧迫力の過不足を防ぐため、たるみやしわのないように装着すること。本品が装着中にたるんだり、しわが寄ったり、ずれ落ちたり、誤った位置に装着されている場合には正しく装着しなおすこと。

[適正な圧力が得られず、また血行障害や神経障害及び圧迫性潰瘍を引き起こすおそれがあります。]

- 4) 腫脹の軽減等により装着中に各部位の周径が変わった場合は、適切なサイズに変更すること。
- 5) 本品に破損（伝線、ホツレ、破れ等）がないことを確認してから装着すること。破損がある場合は適正な圧迫圧が得られないため使用しないこと。
- 6) 本品は繊維製品のため、次のような場合には破損する場合がありますので注意すること。
 - ① 少しずつ引き上げず、強く引っ張りあげての装着
 - ② 爪が伸びていたり、そっていたりする四肢への装着
 - ③ 肌荒れした手や伸びた指の爪での取り扱い
 - ④ 鋭利なものへの接触
- 7) 本品をはさみで切るなど加工、修理を行わないこと。
- 8) 本品は弾性ストッキングに精通した術者が、必ず装着者に使用方法を説明し、正しい装着手順で使用を開始すること。又患者との意思疎通が困難な場合には、介助者に使用方法を説明すること。
- 9) 他の圧迫療法との併用又は重ね履きは、本品単独装着時より圧迫圧が強くなったり、本品にしわ、ずれ等が発生するので注意し、適宜本品及び皮膚の状態を確認すること。
- 10) 軟膏などの薬品や油脂、溶剤等が付着すると繊維が劣化しますので付着しないよう注意すること。

3. 不具合・有害事象

本品の使用により、以下の有害事象がおこる可能性があります。

1) 重大な有害事象

① 血行障害

チアノーゼ、腫脹、疼痛、しびれ、皮膚の冷感などの循環障害が現れた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。

② 神経障害

神経麻痺等の神経障害が現れた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。

③ 皮膚障害

- ・本品のずれ、圧迫等により、皮膚潰瘍の皮膚障害が現れた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。
- ・ショック等末梢循環が不安定な患者に使用した場合、装着部位に血行障害が発生し壊疽などの皮膚障害が起こる可能性があるため四肢の血流に注意すること。

2) その他の有害事象

本品装着部位に発赤、水疱、かゆみ、発疹、かぶれなどの皮膚障害が現れた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。本品を脱いだ後で皮膚障害が現れる場合もありますので、同様に適切な処置を行うこと。

【保管方法及び有効期間等】

高温、多湿の場所での保管はしないこと。

【保守・点検に係る事項】

装着部に軟膏、クリーム類を御使用のときは、毎日洗濯をすること。

- 1) 40℃前後のお湯に市販の洗剤を溶かし、洗濯機または手で押し洗いすること。洗濯機の場合は洗濯ネットを使用すること。
- 2) よくすすぎ、軽く脱水して陰干しをすること。
乾燥機の使用は繊維の劣化を早めます。
- 3) 柔軟仕上げ剤、漂白剤、ベンジン等は使用しないこと。
- 4) ドライクリーニング、アイロンは使用しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：メディ・ジャパン株式会社

TEL： 03-6778-2590

**製造業者：Medi GmbH & Co.KG（ドイツ）

MAXIS a. s.（チェコ）

Textil Elastico S.L.（スペイン）

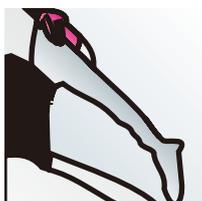
medi弾性ストッキング

ご使用のしおり
着用方法とお手入れ方法



■ストッキングの着用方法

- ・弾性ストッキングは医療機器です。着用に際しては、必ず医師にご相談ください。
- ・当ご使用のしおりのほか、添付文書をよくお読みください。
- ・メディテキスタイルグローブやメディラバークロブなどを使うとグリップしやすくなり、引き上げがより容易になります。(別売)

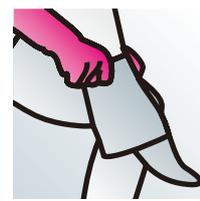
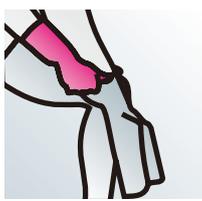


- ①ストッキングの内側に手を入れて、かかとをつまみ、ひっくり返します。
- ②かかとの内側が見えるよう、両手で広げます。

*つま先無の製品をお買い上げの方は付属のイーザーオンスリッパをつま先に被せてください。



- ③つま先をストッキングに入れて、かかとまで挿入します。このとき、ストッキングのかかとの向きに注意しながら履いてください。



- ④ストッキングの上部を掴んで、かかとより上にさらに引き上げます。5cmずつ、上側のストッキング生地をつまんで引き上げることを繰り返し、徐々に上部まで装着します。
*イーザーオンスリッパをご使用の場合、つま先から引き抜きます。



- ⑤ストッキングのスタイルにあわせて膝下、股下までそれぞれ引き上げます。
パンティストッキングの場合は、両脚の股下まで引き上げた後、パンティ部を最後に引き上げます。

*最後に、ストッキング全体にしわやたるみ、食い込みがないように、生地を手でなじませます。特に足首や膝下などはしっかり伸ばしていただくこと快適にお使いいただけます。
ハイソックスは膝裏のシワから2~3cm下に、ストッキングは股下3~4cmに、着衣の上端がくるよう調整します。

medi 弾性ストッキングのお手入れ方法

- ・装着後は、毎回洗濯してください。
- ・液温は40℃を限度とし、洗濯機でデリケートモード等、弱い洗濯が可能です。洗濯ネットを使用してください。
- ・塩素系及び酸素系漂白剤は使用しないでください。
- ・柔軟剤は使用しないでください。

- ・日陰の風通しのよい場所で乾燥させてください。
- ・ドライクリーニングは行わないでください。
- ・低い温度でのタンブル乾燥は可能です。(排気温度上限60℃)
- ・アイロン仕上げは行わないでください。
- ・片脚ストッキングは、ベルトの面ファスナーを留めた状態で洗濯してください。

イーザーオンスリッパ



*つま先無の製品をお買い上げの方はあらかじめ、付属のイーザーオンスリッパを履いておくと、足首を通しやすくなります。



*片脚ストッキングの場合は、引き上げが完了したら付属のウエストベルトを本体に通して、適切な締め具合で留めます。(写真は両脚にそれぞれ片脚ストッキングを装着した場合)

【着用方法は動画でもご覧いただけます】

つま先無製品



つま先有製品



medi弾性スリーブ

ご使用のしおり
着用方法とお手入れ方法



■スリーブの着用方法

- ・弾性スリーブは医療機器です。着用に際しては、必ず医師にご相談ください。
- ・当ご使用のしおりのほか、添付文書をよくお読みください。
- ・メディテキスタイルグローブやメディラバークローブなどを使うとグリップしやすくなり、引き上げがより容易になります。(別売)

* 指輪や腕時計などはいったん手から外したうえで、着用してください。



- ①スリーブの内側に手を入れてから、手首の5 cm上まで裏返します。
- ②スリーブを爪などで引っかかないよう注意しながら、ゆっくり手首まで挿入します。

* ミトン付スリーブの場合は母指の向きに注意しながら挿入してください。

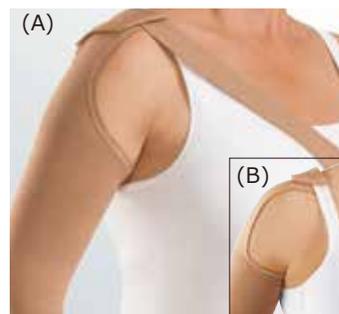


- ③手首まで装着したら、さらに、5 cmずつ、上側の生地をつまみでは引き上げることを繰り返し、徐々に上部まで装着します。
- ④腋の近くまで引き上げが完了したら、スリーブ先端のボーダー部またはトップバンド部も表に戻します。

* 最後に、スリーブ全体にしわやたるみ、食い込みがないように、生地を手でなじませます。特に手首や肘関節はしっかり伸ばしていただくと快適にお使いいただけます。スリーブ上端は腕をおろした状態で、腋の下から1 cmほど下にくるよう調整します。



* メディハーモニーをお買い上げの方は、スリーブを引き上げの際、楕円形の加工部分が肘関節の内側中央にうまく重なるように、位置を確認しながら装着します。



* (A) ショルダーキャップ&ベルト付スリーブの場合は、付属のショルダーベルトを、適切な締め具合で留めます。
(B) 写真のように、アンダーウェアの肩ひもに留めることも可能です。

medi 弾性スリーブのお手入れ方法

- ・装着後は、毎回洗濯してください。
- ・液温は40℃を限度とし、洗濯機でデリケートモード等、弱い洗濯が可能です。洗濯ネットを使用してください。
- ・塩素系及び酸素系漂白剤は使用しないでください。
- ・柔軟剤は使用しないでください。
- ・日陰の風通しのよい場所で乾燥させてください。
- ・ドライクリーニングは行わないでください。
- ・低い温度でのタンブル乾燥は可能です。(排気温度上限60℃)
- ・アイロン仕上げは行わないでください。
- ・ショルダーキャップ&ベルト付スリーブは、ベルトの面ファスナーを留めた状態で洗濯してください。